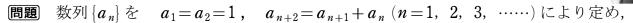
フィボナッチ数列の意外な性質



数列 $\{b_n\}$ を $\tan b_n = \frac{1}{a}$ により定める。ただし, $0 < b_n < \frac{\pi}{2}$ であるものとする。

- (1) $n \ge 2$ に対して、 $a_{n+1} a_{n-1} a_n^2$ を求めよ。
- (2) $m \ge 1$ (mは整数) に対して、 $a_{2m} \cdot \tan(b_{2m+1} + b_{2m+2})$ を求めよ。
- (3) 無限級数 $\sum_{m=0}^{\infty} b_{2m+1}$ を求めよ。 (2025, 東京科学大学・理工学系)

解説 数列 $\{a_n\}$ は、1、1、2、3、5、8、13、21、34、…… と続く、自然数からなる 数列で、前の2項の和によってつくられていく数列であり、「フィボナッチ数列」として 有名である。(1) の指示のように「実験」してみると, $a_3a_1-a_2^2=2\times 1-1^2=1$, $a_4a_2 - a_3^2 = 3 \times 1 - 2^2 = -1$, $a_5a_3 - a_4^2 = 5 \times 2 - 3^2 = 1$, $a_6a_4 - a_5^2 = 8 \cdot 3 - 5^2 = -1$ と規則性がありそうである。一般項を推測して、数学的帰納法で証明してみよう。

$$(1)$$
 証明 $n=2m$ のとき、 $a_{2m+1}\,a_{2m-1}-a_{2m}{}^2=1$ 、 $n=2m+1$ のとき、 $a_{2m+2}\,a_{2m}-a_{2m+1}{}^2=-1$ を証明する。

- [1] m=1 で成立する。 (上記解説の通り)
- [2] m=k で (*) が成立すると仮定すると、

となって、m=k+1のときも(*)は成立する。

同様に、 $a_{2k+4}a_{2k+2} - a_{2k+3}^2 = -1$ も示すことができるから、

 $m=1, 2, 3, \dots$ に対して、(*)が成立する。偶数で1、奇数で-1となるから、

$$\underline{a_{n+1} a_{n-1} - a_n^2} = (-1)^n \quad (n \ge 2)$$
 と表現できる。

(2) 正接 $(\tan \theta)$ の加法定理を用いて、

山脇の超数学講座 № 72



$$(3) \quad (2) \, \, \ \, \sharp \, \, 9 \, \, , \quad a_{2m} \, \cdot \tan \left(b_{2m+1} + b_{2m+2} \right) = 1 \quad \Longleftrightarrow \quad \tan \left(b_{2m+1} + b_{2m+2} \right) = \frac{1}{a_{2m}} = \tan b_{2m} \, \, \cdots \cdots \, \text{ and } \, b_{2m} \, \, \text{ and } \,$$

$$0 < b_n < \frac{\pi}{2}$$
 であり, $\tan b_{2m+1} = \frac{1}{a_{2m+1}}$, $\tan b_{2m+2} = \frac{1}{a_{2m+2}}$, かつ $m=1$,2,3 …で

$$0 < \frac{1}{a_{2m+1}} < 1$$
 , $0 < \frac{1}{a_{2m+2}} < 1$ より , $0 < b_{2m+1}$, $b_{2m+2} < \frac{\pi}{4}$ だから , $0 < b_{2m+1} + b_{2m+2} < \frac{\pi}{2}$,

もちろん、
$$0 < b_{2m} \le \frac{\pi}{4}$$
だから、①より、 $b_{2m+1} + b_{2m+2} = b_{2m}$ ……②

よって、②から、
$$b_{2m+1}=b_{2m}-b_{2m+2} \ b_{2m-1}=b_{2m-2}-b_{2m} \ b_{2m-3}=b_{2m-4}-b_{2m-2}$$

.....

$$b_{5} = b_{4} - b_{6}$$
 $+ b_{3} = b_{2} - b_{4}$
 $\sum_{m=1}^{m} b_{2m+1} = b_{2} - b_{2m+2}$

ここで両辺に b_1 を加えると, $\sum_{m=0}^m b_{2m+1} = b_1 + b_2 - b_{2m+2}$ ……③

$$an b_1 = \frac{1}{a_1} = 1$$
 から $b_1 = \frac{\pi}{4}$,同様に $b_2 = \frac{\pi}{4}$,③より, $\sum_{m=0}^m b_{2m+1} = \frac{\pi}{2} - b_{2m+2}$ …④

さらに数列 $\{a_n\}$ の極限を考える。 $m \ge 2$ にて、

$$a_{2m+2} = a_{2m+1} + a_{2m} > a_{2m+1} + 1 > a_{2m} + 2 > a_{2m-1} + 3 > \cdots > a_2 + 2m = 2m + 1$$

$$\lim_{m \to \infty} (2m+1) = \infty$$
 だから, $\lim_{m \to \infty} a_{2m+2} = \infty$,よって $\lim_{m \to \infty} \tan b_{2m+2} = \lim_{m \to \infty} \frac{1}{a_{2m+2}} = 0$

ゆえに、
$$\lim_{m o \infty} b_{2m+2} = 0$$
 、④から、 $\sum_{m=0}^{\infty} b_{2m+1} = \lim_{m o \infty} \left(\frac{\pi}{2} - b_{2m+2} \right) = \frac{\pi}{2}$ 答

別解 (1)について、以下のように解くこともできる。

漸化式 $a_{n+2}=a_{n+1}+a_n$ と $a_1=a_2=1$ より、 $a_3=1+1=2$ 、 $n\geq 2$ において、

$$a_{n+2} a_n - a_{n+1}^2 = (a_{n+1} + a_n) a_n - a_{n+1}^2 = a_{n+1} (a_n - a_{n+1}) + a_n^2$$

$$= a_{n+1} (-a_{n-1}) + a_n^2 = - (a_{n+1} a_{n-1} - a_n^2)$$

これより, $\left\{a_{n+1}\,a_{n-1}-a_n^{\ 2}\right\}$ は,初項 $a_3\,a_1-a_2^{\ 2}=2 imes1-1^2=1$,公比 -1 の等比数列であり, $a_{n+1}\,a_{n-1}-a_n^{\ 2}=(-1)^{n-2}=(-1)^n$ **答**

コメント 今回は、フィボナッチ数の間の意外な性質から出発して、フィボナッチ数の

逆数に対する正接(tan)の逆関数の数列を考えたとき,奇数番目の項の無限級数が $\frac{\pi}{2}$ に収

束することを示す。「山脇の超数学No.48, 49」でとり上げた級数の手法が使われている。